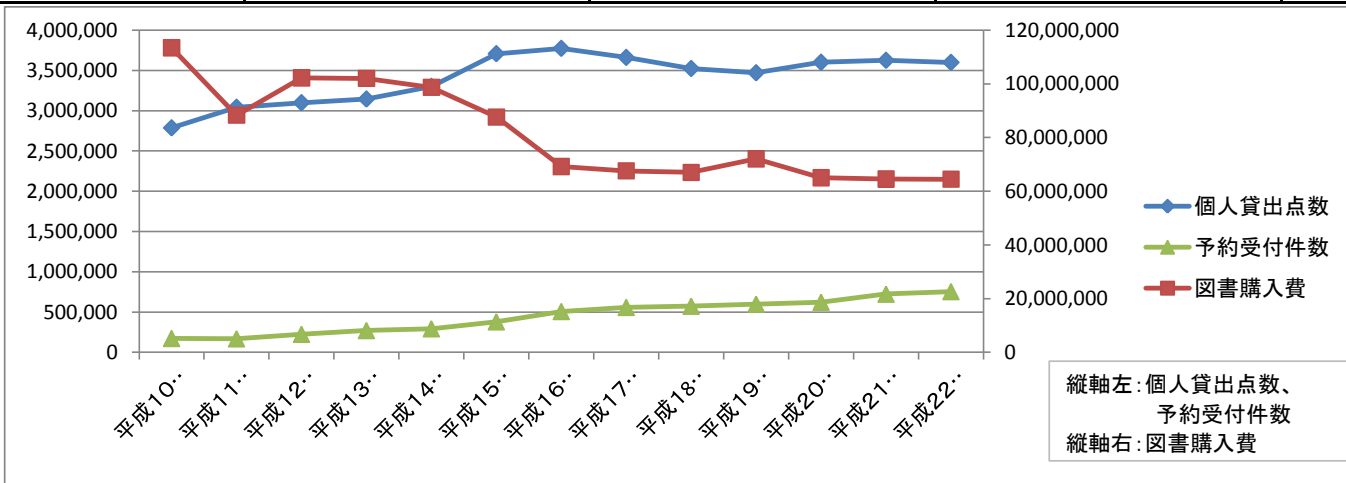
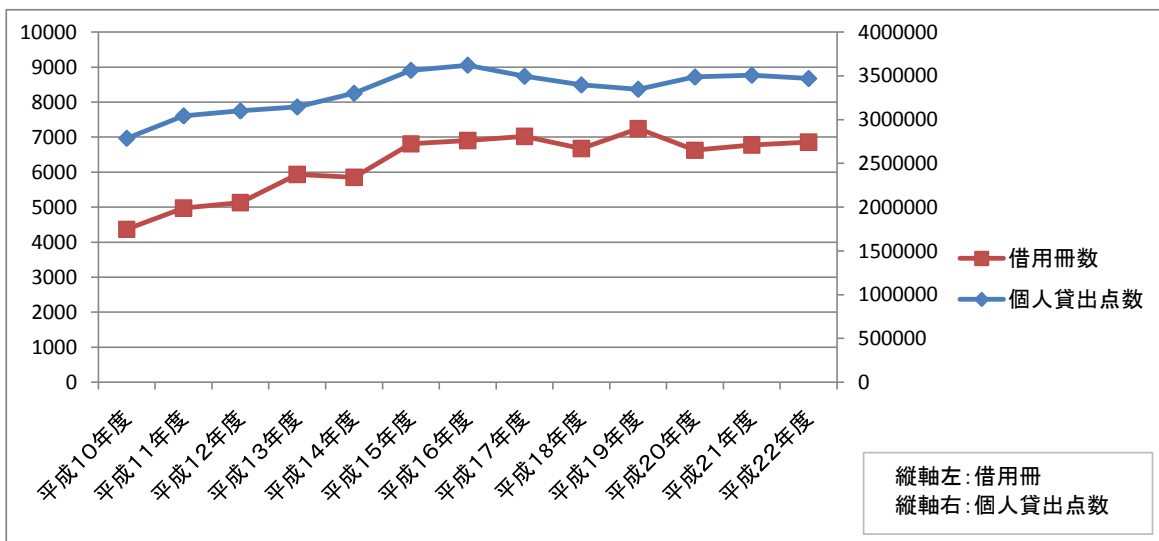


これまでの経営努力

項目	H10 (1998) 年度決算	H11 (1999) 年度決算	H12 (2000) 年度決算	H13 (2001) 年度決算	H14 (2002) 年度決算
業務の見直し・改善		【業務体制の見直し】 岡町図書館を除いて「管理係」を配し。岡町図書館の管理係は「企画管理係」に名称変更。	【業務の集中化】 全館資料の選書・整理作業を北部（野畑図書館）と南部（岡町図書館）でエリア別に集中化 【業務体制の見直し】 ・固定施設の充実にもない動く図書館事業を縮小。図書館車2台を1台に、ステーション数を44から22か所に削減。 ・高川図書館開館の際に、全館の正職員配置数を見直し。	【業務体制の見直し】 市立図書館間の物流と市立図書館、学校図書館間の資料運搬をシルバー人材センターに委託。	【業務体制の見直し】 ほたる図書室閉室（図書室4室→3室） 市立図書館間のネットワークを充実させることで、資料費削減のカバーをめざす
サービス改善・新規事業	【利便性向上】 服部図書館開館（6館→7館） 【施設サービスの充実】 動く図書館を利用した施設サービス開始（保育所1）		【利便性の向上】 高川図書館開館（7館→8館）	【利便性向上】 ・図書館のホームページ開設、インターネットでの蔵書検索が可能となる ・市立図書館間の本格的な物流システム開始。週2回から1日2回運行となる。 【学校図書館との連携強化】 市立図書館、学校図書館間の資料運搬システム開始。	
市民とのとりくみ					
行財政改革（予算の動き）	『豊中市行財政改革大綱』策定	市の物件費3割カットの予算方針に基づき、雑誌購入費（消耗品費）約3割減。	新館の開館に伴い、単年度予算が増加（約7,800万円）		枠配当予算方式により資料費の削減
職員構成(当該年度の4月1日時点)	正職員司書70人、嘱託職員12人、事務職員6人、運転手3人、臨時職員4人	正職員司書73人、嘱託職員14人、事務職員6人、運転手3人、臨時職員4人	正職員司書73人、嘱託職員26人、事務職員6人、運転手3人、臨時職員4人	正職員司書72人、嘱託職員26人、事務職員5人、運転手2人、臨時職員4人	正職員司書71人、嘱託職員26人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員5人
職員定数(欠員)	78(1)	82(3)	82(0)	79(2)	79(1)



【図書費の推移と個人貸出冊数、予約提供件数】



【個人貸出冊数と他自治体とのネットワーク(相互貸借)による借用冊数】

これまでの経営努力

項目	H15 (2003) 年度決算	H16 (2004) 年度決算	H17 (2005) 年度決算	H18 (2006) 年度決算	H19 (2007) 年度決算
業務の見直し・改善	<p>【業務の効率化】 図書館コンピュータシステム大規模更新</p> <p>【業務の集中化】 全館資料の選書・整理作業を野畑図書館に一本化</p> <p>【業務体制の見直し】 蛭池図書館開館に伴い、動く図書館ステーション削減(22→18か所)</p> <p>【利便性の向上と業務の機械化】 インターネットによる個人利用者向け予約受付サービスの開始</p> <p>箕面市と広域利用サービスを開始し、近隣自治体とのネットワークを充実させる。</p> <p>広域連携によって図書館未整備地域の縮小 ネットワークによる資料費削減のカバーをめざす</p>	<p>図書館協議会「これからの豊中市立図書館の運営の在り方について」提言</p> <p>利用者カードに有効期間(5年間)を設け、登録更新開始</p> <p>図書館運営の点検評価のため有効登録者数を把握</p>			<p>【図書館運営の評価】 図書館協議会「豊中市立図書館における評価のあり方について」提言</p> <p>【業務体制の見直し】 広域利用サービス実施により、おそね図書室閉室(図書室3室→2室)</p> <p>「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」最終提言</p>
サービス改善・新規事業	<p>【利便性向上】 ・蛭池図書館開館(8館→9館) ・箕面市立萱野南図書館と広域利用サービスの試行開始 ・インターネットによる個人利用者向け予約受付サービスの開始により予約件数増加件→約8,600件増加</p>	<p>【施設サービスの充実化】 動く図書館による施設サービスを増やす。(1か所から11か所へ。保育所6、支援学校2、放課後こどもクラブ1、児童発達支援センター2)</p> <p>「豊中市子ども読書活動推進計画」策定</p>	<p>【利便性向上】 蛭池図書館と箕面市立萱野南図書館との広域利用サービスの試行延長(平成20年3月末まで)</p>	<p>【利便性の向上】 箕面市との広域利用サービスの試行の延長と拡大(対象館：豊中市立蛭池・千里図書館、箕面市立萱野南・西南図書館)</p> <p>「豊中市子ども読書活動推進計画実施計画」策定</p>	<p>【利便性向上】 千里図書館をリニューアルオープン</p>
市民とのとりくみ	<p>「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を協働提案</p> <p>「えほんはじめまして」(4か月児健診を活用した乳幼児サービス)の試行実施</p>	<p>「豊中図書館の未来を考える会」が「千里のまちにふさわしい図書館構想をつくる一人と情報、人と人を繋ぐ図書館」を協働提案</p>	<p>「しょうないモデル事業実行委員会」(愛称「しょうないREK」)立ち上げ</p> <p>「新しい千里図書館・公民館のあり方を考える市民井戸端会議(仮称)」設置(→のちに「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」と改称)</p>	<p>「平成17年度(2005年度)豊中市新千里図書館・公民館創造会議中間報告書」発表</p>	
行財政改革(予算の動き)	<p>人員増をせずに蛭池図書館開館</p> <p>枠配当予算方式により資料費の削減</p>	<p>枠配当予算方式により資料費の削減</p>	<p>枠配当予算方式により資料費の削減</p> <p>市内全小・中学校59校に学校司書配置</p>		<p>千里図書館開館に伴い単年度予算増(約4,000万円)</p> <p>嘱託職員が任期付き短時間職員へ移行</p> <p>『新・豊中市行財政改革大綱』策定</p>
職員構成(当該年度の4月1日時点)	<p>正職員司書71人、嘱託職員34人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員4人</p>	<p>正職員司書71人、嘱託職員34人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員4人</p>	<p>正職員司書70人、嘱託職員35人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員4人</p>	<p>正職員司書68人、嘱託職員35人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員5人</p>	<p>正職員司書69人、任期付き短時間職員33人、事務職員5人、運転手2人、臨時職員5人</p>
職員定数(欠員)	79(0)	79(1)	78(0)	78(2)	77(2)

これまでの経営努力

単位:円

項目	H20 (2008) 年度決算	H21 (2009) 年度決算	H22 (2010) 年度決算	H23 (2011) 年度決算	H24 (2012) 年度決算
業務の見直し・改善	<p>【業務体制の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域利用サービス実施により、しばはら図書室閉室（図書室2室→1室） ・動く図書館車更新→旧車体を「バス図書室」として再活用 ・夜間開室業務をシフト勤務化（時間外勤務時間を4108h→3623hに削減） <p>【図書館運営の評価】</p> <p>図書館利用者アンケート調査実施</p> <p>【業務の効率化】</p> <p>図書館コンピュータシステム大規模更新</p> <p>【歳入獲得の取り組み】</p> <p>ホームページをリニューアル・パナー広告事業開始</p> <p>*パナー広告：図書館HPに広告スペースを設けるもの。→6社掲載（契約期間原則3か月）</p>	<p>【図書館運営の評価】</p> <p>図書館評価検討委員会を開催し、評価内容をホームページ等で公開</p> <p>【歳入獲得の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページでのアフィリエイト広告とパナー広告開始 *アフィリエイト広告：オンライン書店にリンクし資料の表紙画像するとともに、図書館HPを経由して資料を購入すると、商品の本体価格のうち購入者に1%、図書館に3%のポイントが還元される契約（制度）。→4冊購入、図書館資料として活用。 ・レシート広告事業（商店街「初金市」）開始 *レシート広告：貸出一覧等を打ち出して利用者に渡すレシートに広告を印字。広告主はレシートロールを物納。→計12本納入。 ・動く図書館の車体広告を開始（～H23年度）。車体広告の契約は10万円/年 	<p>【業務体制の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員提案により、人員を増加させることなく祝日開館実施。 <p>【歳入獲得の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシート広告：計136本納入。 ・パナー広告：5社の掲載を行う（契約期間原則1か月に変更） ・アフィリエイト広告：7冊購入、図書館資料として活用。 	<p>【業務体制の見直し】</p> <p>岡町図書館より7人、読書振興課へ異動。</p> <p>【歳入獲得の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住民生活に光をそそぐ交付金」により図書6,700冊（1,500万円）、視聴覚資料1,000点（300万円）購入。 ・レシート広告：約436本納入。 ・パナー広告：4社の掲載を行う ・アフィリエイト広告：3冊購入し図書館資料として活用。 	<p>豊能三市二町図書館広域利用に関する協定を結び、貸出を開始</p> <p>「豊中市立図書館の中長期計画 グランドデザイン」の策定作業開始</p> <p>【利便性の向上と業務の機械化】</p> <p>緊急雇用補助金（重点分野雇用創造事業）により「図書館の新しい管理業務等を通じた就労困難者等就職促進事業」を実施。図書館の全資料にICタグを貼付。</p>
サービス改善・新規事業	<p>【利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館未整備地域にバス図書室を開室（図書室1室→2室） ・携帯電話サイトからのリクエストサービス開始。 	<p>【利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページから調べものの調査を受け付ける「eレファレンス」開始 ・図書館メールマガジン配信開始（図書館資料の新着情報、図書館や豊中市の行事や暮らしに役立つ情報のお知らせ等） ・ホームページで豊中に関する新聞記事見出し検索サービスを開始 ・電話、ホームページで継続貸出手続きサービス開始。 	<p>【利便性向上】</p> <p>岡町・庄内・千里・野畑図書館で祝日開館を開始</p> <p>【学校図書館との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とよなかブックプラネットプロジェクトチーム発足 ・幸町図書館を学校図書館支援ライブラリーとして機能変更するための準備開始。 <p>「豊中市子ども読書活動推進計画第1期実施計画 評価報告書」発行</p> <p>「豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画」策定</p>	<p>【学校図書館との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会に読書振興課を新設、「とよなかブックプラネット事業」を継承。 ・学校図書館専任司書を読書振興課所属とする。 ・庄内幸町図書館の2階を「学校図書館支援ライブラリー」として機能変更。 <p>【利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹田市との広域利用サービスの試行実施（対象館：豊中市立千里・東豊中・高川図書館、吹田市立千里・江坂・ちさと（千里山・佐井寺）図書館） ・「住民に光をそそぐ交付金」を活用し、「暮らしの課題解決支援」サービス開始。 	<p>【利便性向上】</p> <p>豊能三市二町図書館広域利用に関する協定を結ぶ。</p> <p>【学校図書館との連携強化】</p> <p>市立図書館を学校図書館間の資料運搬システムを週2回に増便。</p>
市民とのとりくみ		<p>文部科学省「図書館における知の拠点事業」受託→「北摂アーカイブス」公開開始</p>	<p>地域情報アーカイブ化事業実行委員会設立（図書館における知の拠点事業を市の単独事業に）</p>	<p>「えほんはじめまして」事業で絵本プレゼントを開始。ブックスタート事業「えほんはじめまして」と改称。</p>	
行財政改革（予算の動き）	<p>夜間開室業務のシフト勤務化による予算削減</p>		<p>「事業等の戦略的たな卸し」実施</p>		
職員構成(当該年度の4月1日時点)	<p>正職員司書67人、任期付き短時間職員32人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員3人、再任用職員1人、欠員等代替5人</p>	<p>正職員司書63人、任期付き短時間職員33人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員3人、再任用職員3人、欠員等代替7人</p>	<p>正職員司書59人、任期付き短時間職員34人、事務職員6人、運転手2人、臨時職員3人、再任用職員4人、欠員等代替11人</p>	<p>正職員司書58人、任期付き短時間職員34人、事務職員7人、運転手2人、臨時職員3人、再任用職員7人、欠員等代替9人（読書振興課職員を含む）</p>	<p>正職員司書56人、任期付き短時間職員32人、事務職員7人、運転手2人、臨時職員3人、再任用職員8人、欠員等代替12人（読書振興課職員を含む）</p>
職員定数(欠員)	77(2)	73(2)	70(3)	68(1)	67(2)